

第三十六回句会 俳句

【高点句】

☆句談義を重ねて宿の夜長かな

〈一馬〉

☆水軍の夢の跡知る夜長かな

〈莫院〉

☆鷗外に葉挟みて夜の長し

〈撫子〉

【各自一句】

・湯桶の音旅情膨らむ夜長かな

〈眞澄〉

・赤とんぼバーディーパットに息をとめ

〈童心〉

・蜻蛉来て日暮れの風に乗りて行く

〈撫子〉

・子規庵の引き戸を開けて糸瓜棚

〈一馬〉

・薪焚べる山小屋の黙（もだ）夜長かな

〈茂〉

・長き夜やアメリカよりのメール待ち

〈明美〉

・喧噪に勝る虫の音神社前

〈青蛙〉

・長き夜に源氏一卷開きをり

〈千恵〉

・鬼やんま目玉半分空の色

〈莫院〉

・向かい風に蜻蛉負けじと交差点

〈安津子〉

・夜長し溜まる新聞切抜きて

〈静〉

\*以上、33句（3句ずつ11名）より、選句は12名により4句ずつ

\*高点句は、高得点の句より3句（今回は、第2位が同点で2句）

\*各自一句は、得点に関わらず、作者自身の選出による（得点順ではなく、俳句一覧表に

偶然記載された順に掲載）